

電力自由化をめぐるトラブル

事例1

「電気料金が安くなる」と電話があった。契約内容や使用料、検針票のお客様番号を聞かれた。今使っている大手電力会社からの電話だと思い、聞かれた内容を答えた。

後日、知らない会社から電気料金の請求書が届いた。電力会社を変えた覚えがない。元の事業者に戻したい。

事例2

「電気メーターが古いので新しいものに交換する」と事業者が来た。今契約している大手電力会社だと思った。

書類に住所や氏名を書くようにと指示されたので書き、控えをもらった。後日書類をよく見ると、全く知らない会社名が書いてあった。

大手電力会社に問い合わせたところ、訪問してきた事業者とは無関係だと言われた。どうしたらよいか。

アドバイス

●検針票は慎重に取り扱ってください。

氏名や住所、顧客番号、供給地点特定番号など重要な個人情報が記載されています。

電力会社は、これらの情報で契約しています。電話勧誘や訪問販売で情報を聞かれても、安易に教えないようにしてください。



●契約先を替える場合は、契約条件をしっかりと確認してください。

料金だけでなく、契約期間や解除時の違約金の有無などをよく確認し、納得してから契約してください。

●電話や訪問で勧誘を受け、切り替え契約した場合、**クーリング・オフ**できます。

契約書を受け取ったら、すぐに内容を確認してください。